

東京2020オリンピック 卓球女子団体出場内定

平野美宇



CROSS TALK

中央市出身の卓球選手・平野美宇（日本生命）さんが卓球女子団体戦のメンバーとして選出された東京2020オリンピックは、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大のため、開催の延期が3月24日に発表されました。

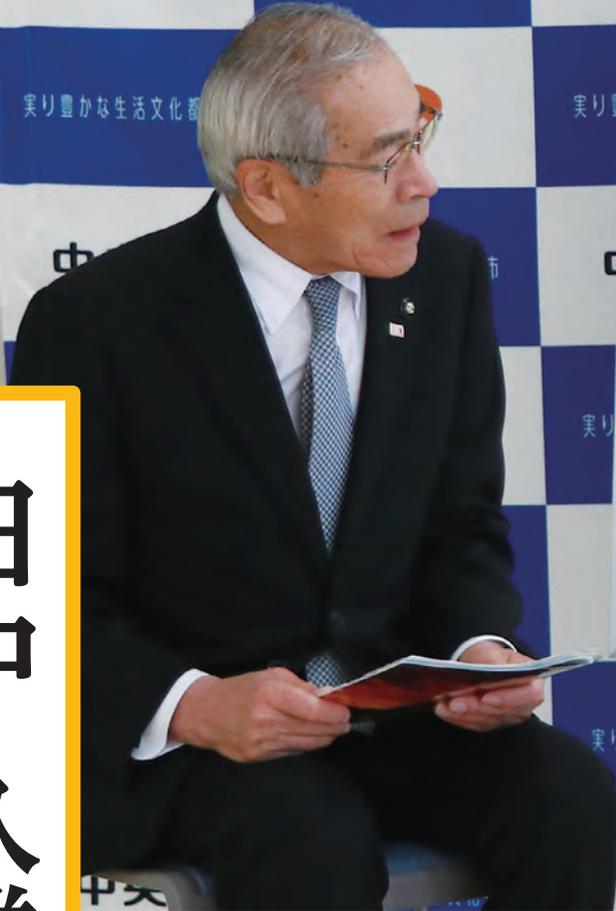
この対談は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の2月に行われました。田中市長との対談の中では、7月に開催が予定されていた東京2020オリンピック出場メンバーとしての平野選手の意気込みや、選考レースの時の気持ちなどを聞くことができました。

現在はオリンピック出場内定選手や出場を目指す選手たちにとって厳しい時間が続き、選手たちが一番輝ける競技自体が行えない状況です。だからこそ、オリンピックが開催された時は、平野選手を全力で応援しましょう！

TOKYO2020 OLYMPIC

中央市長

田中久雄



日本代表選手に選出されて

市長 東京2020オリンピック卓球女子団体戦出場内定おめでとうございます。内定発表はテレビで見えていましたか。

平野 テレビは直接は見えていないですね。小学校の時の担任の先生から連絡をもらって、それで知りました。

市長 市役所では内定発表の時、職員みんなでテレビを見ていて、平野選手が代表に決まった時は大喜びしました。

平野 ありがとうございます(笑)

市長 決まったと分かった瞬間はどうでしたか。

平野 そうですね、団体の代表選手は卓球協会からの発表を待つだけだったので、そんなに気にならなかったです。シングルの枠に入るための争いのほうが過酷でした。自分で掴み取らなければいけないものだったので、その時のほうがすごく心が重かったですね。

市長 勝てば日本代表になれる、そこには相当なプレッシャーがあったと思います。

この3年間を振り返って

市長 前回（平成29年広報ちゅうおう1月号に掲載）対談させてもらった時はその年のブレークスルースター賞（※）を受賞した時ですよ。あれから3年近く経ちますが、振り返ってみてどうですか。

※ブレークスルースター賞 国際卓球連盟が選ぶその年最も躍進した選手に贈られる賞

平野 あの時自分が相手に向かっていくだけというか、向上心のみ



平成29年対談時には田中市長と平野選手で卓球をしました

で試合をしていた感じでした。けれど、そこから相手が私に向かってくるという試合が多くなって、どうやって対応するのかをすごく考えていました。

市長 対戦相手が平野選手対策をいろいろと考えてきて、一時期なかなか勝てない時もあったと思いますが、その時の気持ちを教えてください。

平野 自分に自信を持って3ゲームを取るっていうのが大変で、試合をやりたくないなって思うことがすごくあったんです。でも「とりあえずやってみよう」って気持ちで、去年くらいからちょっと明るい気持ちになることができたので、そこがいい部分に繋がったと思います。それをやらなかったら、卓球をやってこれなかったと思います。

市長 卓球を辞めようと思いましたが。

平野 初めてやりたくないって思いました。それまでは、試合に負けても悔しいと思うことが多かったんですけど、そんな気持ちになってしまっただけで、それがすごく恥ずかしかったです。

緊張の中闘った1年間

市長 2019年はシングルスオリンピック日本代表候補選手が選出された1年でした。特にこの1年を振り返ってみてどうですか。

平野 そうですね、前半はあんまり考えずに試合ができたんですけど、後半はポイントのことを考えてしまっただけで緊張してしまい、良い1球が打てない時もありました。

市長 やはり、シングルスで出場するというのは自分の気持ちの中で大きかったですか。

平野 そうですね。シングルスはすごく出場したかったし、そこはちょっと悔しかったですね。

市長 そんな1年の中で自分自身としてここは成長したなっていう所はなにかありますか。

平野 うーん、そうですね。うーん、なんだろう（笑）。でも苦しい時でも、逃げないでできるようになったのがすごく成長したと思えます。この1年は苦しい時も多く、今までは逃げたりしてしまっただけですが、苦しさに向き合っていくうちに、より試合に夢中になれるようになっていきました。

家族の支えを感じて



お祝いに中央市産の紅白イチゴをお渡ししました

市長 今はお父さんと一緒に生活されているんですか。

平野 そうですね。

市長 家族がいるっていうことは精神的にも支えになりますね。

平野 はい。いろいろご飯だったり、なにかあったらサポートしてくれます。一人だと大変なことなんですけど、すごく頼りにしています。

市長 お父さんは、ドクターとしてお勤めされているんですね。

平野 はい。平日の時間を前より短くしてもらっていて、その時間でご飯を作ってくれます。

平野美宇選手のメッセージ色紙をプレゼント!

対談時に平野選手から東京2020オリンピックに向けて書いたメッセージ色紙をいただきました。こちらの色紙を1名様にプレゼントします。ぜひご応募ください。

応募方法 はがきに下記の事項を記入し、郵送で応募

応募期限 8月31日(月) 当日消印有効

※当選者の発表は、メッセージ色紙の発送をもってかえさせていただきます。

※ご応募は市内在住の人に限定させていただきます。

※個人情報(住所・氏名・電話番号)はプレゼントの抽選、賞品発送、連絡以外の目的では一切使用しません。



(表)	409—3892	(裏)
中央市役所政策秘書課 メッセージ色紙プレゼント係	山梨県中央市白井阿原 301-1	①住所 山梨県中央市●● ②氏名 中央 太郎 ③電話番号 055-123-4567 ④平野美宇選手への応援メッセージ

①東京2020オリンピック代表候補内定時に市役所へ設置した懸垂幕②平野選手の内定が決まった時は市役所職員一同大盛り上がり!③市で作成した応援うちわを渡しました④東京2020オリンピック代表候補内定時に作成した広報紙(令和2年2月号)を見る平野選手



応援を自分の力に変える

市長 オリンピックへの出場が決まった時には、市でも懸垂幕を作ったり、小さな応援幕を市役所に置いたりしました。

これからも、一生懸命応援していきますが、そういう地元の応援は平野選手の力になりますか。

平野 そうですね。あの応援幕はよく見かけます。市長さんやいろいろな人たちに応援してもらい、東京にいてもテレビやニュースからその様子は入ってくるので、すぐく力になります。うれしいです。
市長 オリンピックへ向けての意気込みを教えてください。

平野 東京でオリンピックが開催されて、出場できるというのは一生に一度だと思えます。結果を出して、中央市のみなさんにいい報告をしたいです。やっぱり金メダルをみなさんに見せたいですね。

市長 最後に中央市のみなさんにメッセージをお願いします。

平野 中央市や山梨県のいろんな人の想いを背負っているのに、その想いをしっかり返せるように、努力して頑張っていきたいです。

市長 ありがとうございます。頑張ってください。
平野 はい、ありがとうございます。